

出前授業・模擬選挙
地方公共団体主体
小学生等

模擬議会・議員との交流
若者議会・こども議会
高校生

大学・若者グループ等との交流
【参考】 学校・民間団体が主体の取組
特別支援学校生

### ③流山市（千葉県）（人口208,401人）※令和5年1月1日現在

## 「校長先生を選ぼう」特別支援学校で模擬選挙

### ■取組の概要

- 県立の特別支援学校の生徒を対象に、選挙の出前授業を実施した上で、架空の校長先生を選ぶことをテーマに模擬選挙を実施。



### 実施概要

実施年度	平成30年度から
対象者	県立の特別支援学校の生徒
参加者数	150名程度（令和4年度）（3校）
事業規模（予算）	なし

### ■実施の経緯

#### <取組を開始するに至った経緯>

- 以前から高校生を対象とした模擬選挙授業は行っていたが、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことをきっかけに、すべての18歳になる方のために事業を実施することを意図して、特別支援学校も対象に取り入れて出前授業を実施した。
- 特別支援学校を対象とするにあたり、身近でわかりやすい題材として、架空の校長先生を選ぶことをテーマにした。

#### ■実施の体制

##### <庁内の実施体制>

- 市の職員が2～4名で当日対応。うち1名が司会、その他が全体サポート。

##### <外部との連携体制>

- 市明るい選挙推進協議会から2名程度、模擬選挙の立会人役として参加。

### ■取組の効果・成果

- 取組後のアンケートにおいては、「選挙にいこうと思った」、「選挙の大切さがわかった」といった内容を答えてくれる生徒も多い。
- 生徒たちが初めての選挙を迎える前に、実際の選挙に近い形式で行う模擬選挙を体験してもらうことで、投票に慣れてもらい、若年層の投票率が少しでも上がることに期待している。

#### <これから取組を始める団体へのメッセージ>

特別支援学校の生徒の中には、難しい用語や漢字が理解できない方や、自分で投票用紙に候補者の氏名を記入できない方もいらっしゃいます。事業の実施にあたっては、選挙管理委員会のみで対応することは難しいので、先生方と協力・連携をすることが大切です。

★より詳しい情報はこちらへ 【選挙出前講座】

<https://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/1008966/1009075/1009077.html>



## ■取組のステップとポイント

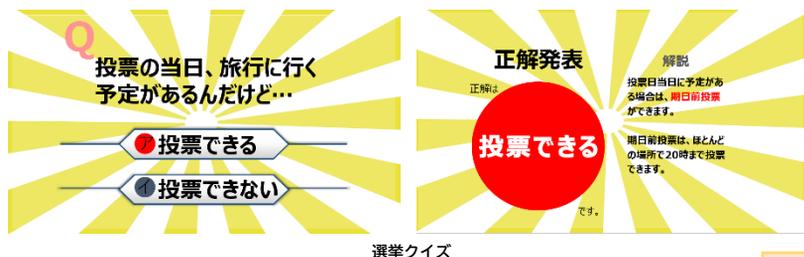
### ① 事前準備

#### 【実施10か月前】学校からの依頼受付

- ・新年度のタイミングで学校へ案内、学校側から出前授業の依頼の連絡を受け、日時を調整。
- ・学校との打合せまでに選管で資料を作成。

#### 【実施1か月前】学校と打合せ

- ・学校の担当教員と打合せし、講義内容について協議。
- ・選管側で投票用紙、投票箱、開票機器の確保。
- ・学校側には、スクリーンやプロジェクターの用意等を依頼。



選挙クイズ

#### <当日の流れ>

- ・講義資料や選挙公約等は選管で用意して、当日生徒に配布。

##### 1. 導入（4分）

職員からの挨拶、千葉県明るい選挙シンボルキャラクターせんきょ君の紹介。

##### 2. 選挙アニメの放映（8分）

総務省作成の動画教材を上映。

##### 3. 選管職員による講義（13分）

選挙の意義、投票率の低下等を身近な事例を使って説明。

##### 4. 候補者（校長先生）の説明（11分）

休憩10分

##### 5. 模擬選挙

投票方法の説明を行った後、架空の候補者、公約、その人が校長になったらどのようになるか等を説明のうえ、模擬選挙を行う。

##### 6. 選挙クイズ

簡単なクイズを実施（入場整理券を忘れたら投票出来る？出来ない？等）。

学校によって、模擬選挙・開票にかかる時間が異なるため、待ち時間を有効に使えるように時間や問題数は都度調整する。

##### 7. 感想アンケートの記入（15分）

#### 【ポイント】

- ・講義内容の調整については、資料等をこちらから提示し、その内容で問題ないか、講義で取り上げて欲しい題材等がないかを確認する。
- ・使用する資料（パワーポイント等）は生徒が飽きないように分かりやすく、興味を持てるような内容で作成した。特に、特別支援学校の生徒に向けては、難しい言葉や表現はなるべく避けて資料を作成した。

#### 【ポイント】

- ・相手が特別支援学校の生徒のため、説明する際はなるべく簡単で分かりやすい言葉を用いた。
- ・投票所で使用する選挙用機材や、本物の投票用紙と同じ材質の模擬投票用紙を使用。開票作業でも、市の職員が実際に開票事務の際に使用する機器を使い、票の分類や計数を行う等、できるだけ実際の選挙と同様の環境とした。
- ・講義が長いと、どうしても生徒の集中力が切れてしまう。生徒によっては席を外れて歩き回ったり大声を出したりするため、教員の方たちとの連携が必要。

### ② 取組実施



模擬選挙の様子